

第21回日本母性看護学会 学術集会

日時：6月15日(土)9:00～

17:30

会場：JMS アステールプラザ／広島市文化交流会館(広島市中区)

テーマ：マタニティサイクルとライフサイクルの有機連続性—多様性の尊重が未来を拓く

プログラム：

【6月14日(金)13:00～17:30】プレコングレス(広島大学霞キャンパス広仁会館)：「助産実践能力習熟段階レベルⅢ」認証申請必修研修ほか

【6月15日(土)】会長講演「マタニティサイクルとライフサイクルの有機連続性」大平光子(広島大学大学院医歯薬保健学研究科助産・母性看護開発学教授)／特別講演「虐待により傷ついた脳のライフサイクルへの影響」友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター教授)／教育講演Ⅰ「アタッチメント形成における周産期メンタルヘルスの意義—世代間伝達の視点から」山下洋(九州大学病院子どものこころの診療部准教授)／教育講演Ⅱ「『親を理解したい』から始まる個別支援」中板育美(武蔵野大学看護学部教授)／シンポジウム「多様性を尊重し家族が持つ力の発揮を支援する多職種連携・協働」松浦洋栄(NPO 子育て運動えん理事, MY Tree ペアレンツ・プログラム実践者), 松井剛太(香川大学教育学部准教授), 吉元一峰(広島県発達障害者支援センター地域支援マネージャー), 酒井珠江(広島県教育委員会事務局教育部豊かな心育成課生活指導係,

スクールソーシャルワーカースーパーバイザー)／一般口演, 示説発表, CNS 実践報告会, ナーシングサイエンスカフェ

参加費：

【学術集会とプレコングレス】会員1万円, 非会員1万3000円
※プレコングレスの参加は事前登録のみ(当日参加不可)

【学術集会のみ】[事前登録] 会員7000円, 非会員8000円, [当日参加] 会員8000円, 非会員9000円, 学生(大学院生除く, 当日のみ)2000円

問い合わせ先：第21回日本母性看護学会学術集会事務局

〒734-8553 広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院医歯薬保健学研究科助産・母性看護開発科学内

✉jsmn21@hiroshima-u.ac.jp

☎http://bosei21.jp/

第2回日本母乳バンク カンファレンス

日時：6月16日(日)9:30～

17:30

会場：昭和大学江東豊洲病院9階講堂(東京都江東区)

テーマ：早産児に対する母乳の重要性を再認識しよう

プログラム：

【午前の部】「Improving Outcomes of VLBW Infants with an Exclusive Human Milk Diet —完全人乳栄養による極低出生体重児の予後改善効果」Amy Hair B(Texas children's hospital)／「母乳バンクとはなにか」寺田知正(昭和大学江東豊洲病院小児科)／「人乳由来成分の安全性」Victoria Niklas(Prolacta Bioscience 社)

【ランチョンセミナー】「母乳の殺菌処理—母乳の利点を残す方法とは」水野克己(昭和大学医学部小児科学講座)

【午後の部】「超早産児の栄養戦略」櫻井基一郎(昭和大学医学部小児科学講座)／「母乳とハイリスク新生児の腸内環境」Amy Hair B
※逐次通訳あり, CERPs 申請中

参加費：1万円(ランチ付き)

申込方法：下記ホームページより

☎https://bonyubank20190616.peatix.com/

問い合わせ先：一般社団法人日本母乳バンク協会

☎https://jhmba.or.jp/

母乳育児支援学習会 in 高崎

日時：6月16日(日)12:45～16:15(開場12:00)

会場：高崎市総合福祉センターたまごホール(群馬県高崎市)

プログラム：「母乳が作られる構造と仕組み」新井基子／「効果的な授乳とは？ お母さんと赤ちゃんの協働作業」黒澤かおり／ワークショップ「母乳育児支援の困った！を解決するヒントを見つけよう—4つの事例をもとに知識を実践に」新井基子, 黒澤かおり

参加費：[事前登録] 4000円, [当日受付] 5000円

事前申込期間：6月2日(日)

※定員に達した場合は早期に締切ることがあります。

申込・問い合わせ先：母乳育児サポートこでまりの会事務局

☎https://kokucheese.com/event/index/559104/

第155回指導者のための 避妊と性感染症予防セミナー

日時：6月22日(土)9:40～

16:00

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター(東京都千代田区)

対象：医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、カウンセラー、ほか(教育・福祉関係者等)

テーマ：プレコンセプション・ヘルス・ケアを考える

プログラム：

講義Ⅰ「プレコンセプション・ヘルス・ケアとは」／講義Ⅱ「OC(経口避妊薬)／LEP(低用量エストロゲン・プロゲスチン)がプレコンセプション・ヘルス・ケアに果たす役割とは」／講義Ⅲ「婦人科疾患の予防とプレコンセプション・ヘルス・ケア」／質疑応答「プレコンセプション・ヘルス・ケアを考える」

講師：荒田尚子(国立成育医療センター周産期・母性診療センター母性内科診療部長)、池田裕美枝(京都大学大学院医学系研究科社会健康医学系健康情報学分野医学博士課程)、ほか

定員：200名

参加費：5000円(税別)。思春期保健相談士は3000円(税別)。学校一括申込の場合、教員・学生とも3000円(税別)。

申込方法：①WEBでの申込の場合は、下記ホームページにアクセス②FAX・郵送での申込の場合は、受講申込書をダウンロードし、記入の上、送付

☎ <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

※156回以降の情報は日本家族計画協会ホームページよりご確認ください。

第1回 切れ目のない 妊娠・出産・育児支援の ためのセミナー

日時：6月30日(日)10:00～17:15

会場：損保会館 404, 405(東京都千代田区)

プログラム：健やか親子21(第2次)「妊娠期からの児童虐待防止対策」とは／「周産期メンタルヘルス・ハイリスク妊婦への対応」／「児童虐待と他機関連携」

定員：100名

参加費：1万5000円

申込方法：下記学会ホームページより

申込方法：①WEBでの申込の場合は、下記ホームページにアクセス。②FAX・郵送での申込の場合は、受講申込書をダウンロードし、記入の上、送付。

☎ <http://www.jfpa.or.jp/>

問い合わせ先：一般社団法人日本家族計画協会 研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

※2回以降の情報は日本家族計画協会ホームページよりご確認ください。

国際母子ケア協会認定筋膜 リリースセミナー

日程：7月4日(木)～5日(金)

会場：アクエリエル京都(京都市北区)

対象：看護師、助産師、理学療法士、マッサージセラピスト

プログラム：妊娠褥婦に応用できる、緊張や疼痛のある頸部、肩、仙腸関節周辺部位、腰部、胸部への具体的アプローチを習得します。筋膜の解剖生理学、分子生物学、神経科学などを、最新のエビデンスをもとに復習します。

定員：各12名

参加費：8万6000円

申込方法：メールにて件名「筋膜リリースセミナー受講希望」と明記し、本文に①氏名②住所③電話番号を記入の上、下記アドレスから申し込み。

☎ info@iamb.jp

問い合わせ先：一般社団法人国際母子ケア協会事務局

☎ 075-468-7082

☎ www.iamb.jp

第46回 JALC 母乳育児 支援学習会 in 札幌

日程：7月6日(土)11:30～17:30、7月7日(日)9:00～15:00

会場：札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)

対象：母乳育児を支援する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士など)以外にも、学生その他、母乳育児支援に興味のある方

プログラム：

【7月6日(土)】「2018年改訂『赤ちゃんにやさしい病院運動』と『母乳育児がうまくいくための10のステップ』—なにが新しく変わったか?」中村和恵(新生児科医・

IBCLC) / 「早産児に対する EHMD: Exclusive Human Milk Diet の利点」水野克己(小児科医・IBCLC) / 「NICU での母乳分泌の確立と維持—UP TO DATE 母乳の保存と取り扱いを含む」大山牧子(新生児科医・IBCLC) / 「災害時の母と子への支援: 私たちにできること・すべきこと」本郷寛子(ソーシャルワーク修士・保健学修士・IBCLC)

【7月7日(日)】「JALC20 周年記念シンポジウム『学び つながり 明日を拓く』」/ 「日本の助産師教育と IBCLC (仮)」井村真澄(助産師・IBCLC) / 「『どうしたらいいの? 私の母乳育児』—母親に伴走する支援を」菅原光子(助産師・IBCLC), 古賀浩子(助産師・IBCLC), 西垣敏江(LL.B・IBCLC)

※内容や講師は予告なく変更になることがあります。

申込方法: JALC の公式サイト(①)および JALC 学習会専用案内サイト(②)に情報掲載予定。当日参加も可能。

①<http://jal-net.jp>

②<https://jalc-study.jimdo.com>

日本看護教育学学会 第 29 回学術集会

日時: 8 月 24 日(土) 10:00~16:40

会場: 群馬会館(群馬県前橋市)

テーマ: 実践と研究の循環とその成果

プログラム: 基調講演「ライフワークとしての看護教育学研究」山下暢子(群馬県立県民健康科学大学) / シンポジウム「実践と研究の循環—質の高い看護・教育をめざし

て」中山登志子(千葉大学), 伊藤真理(日鋼記念看護学校), 飛世真理子(船橋市立医療センター), 相楽有美(横浜州市立市民病院) / 演題発表および研究批評

参加費: 一般 8000 円, 学生(大学院生を除く) 3000 円, 懇親会 5000 円

申込方法: 下記学会ホームページより

<http://jasne.umin.jp/29thprogram.html>

申込締切: 7 月 24 日(水)(申込, 振込締切)

※定員になり次第締切。定員に満たない場合, 当日受付あり。

問い合わせ先: 日本看護教育学学会第 29 回学術集会事務局

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 323-1(群馬県立県民健康科学大学内)

✉jasne_29@yahoo.co.jp

日本看護歴史学会 第 33 回学術集会

日程: 8 月 31 日(土)~9 月 1 日(日)

会場: 日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ: 高度実践時代の到来に向けて看護と専門職の歴史を考える

プログラム:

【8 月 31 日(土)】会長講演「歴史に見る看護の専門職化のプロセス: 高度実践と役割拡大に焦点をあてて」川原由佳里(日本赤十字看護大学) / 教育講演「日本の高度実践看護の始まり, 今, そしてこれから」岡谷恵子(日本看護系大学協議会) / 招聘講演「The Evolution and Future of Advanced Practice (仮)」Julie

Fairman(ペンシルバニア大学)

【9 月 1 日(日)】シンポジウム「高度実践時代に向けて看護と専門職のこれからを考える」話題提供: 塚本容子(北海道医療大学), 峯川浩子(常葉大学), 宇佐美しおり(熊本大学)

参加費: [事前登録] 会員 7000 円, 非会員 8000 円, [当日受付] 会員 8000 円, 非会員 9000 円, [学生(大学院生を除く)] 500 円(当日学生証を提示), 懇親会参加費: 4000 円

事前参加申込締切: 6 月 28 日(金)

詳細: 学術集会ホームページ

<http://33jsnh.com>

問い合わせ先: 学術集会事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内

✉33rdjsnh@redcross.ac.jp

第 16 回日本高齢者虐待 防止学会蒲田大会

日時: 9 月 7 日(土) 9:20~18:05

会場: 東邦大学看護学部(東京都大田区)

テーマ: 高齢者虐待防止—助けを求めない人への支援

プログラム:

大会長講演「助けを求めない人への支援—セルフ・ネグレクトの視点から」岸恵美子(東邦大学) / 基調講演「高齢者虐待をめぐる現状と課題」畑憲一郎(厚生労働省) / 教育講演「助けを求めない人に援助者はどう向き合うか」春日武彦(成仁病院) / シンポジウム I 「セルフ・ネグレクトを予防するまちづくり」 / II 「高齢者虐待対応における本人・養護者の意思決定支援」 /

分科会Ⅰ「施設における虐待予防のためのリスクマネジメント」／Ⅱ「ヤングケア・ダブルケア介護の現実と支援の課題」／Ⅲ「認知症高齢者を支援する地域連携とネットワーク」／Ⅳ「法制度改正に向けた現状と課題」／一般演題発表／ほか

区民公開講座：

【9月6日(金)16:00～17:30】
区民公開講座「ダブルケア・ヤングケアで悩まないために」堀越栄子(日本女子大学家政学部教授、日本ケアラー連盟代表理事)

参加費：〔事前登録〕会員 4000 円、非会員 5000 円、学生 2000 円、シニア 1000 円、〔当日参加〕会員 5000 円、非会員 6000 円、学生 3000 円、シニア 2000 円、市民公開講座(資料代)500 円

事前参加登録：7月31日(水)まで
演題募集：6月10日(月)まで

申し込み方法：詳細は下記ホームページより

問い合わせ先：シルバー総合研究所内学会事務センター

✉ info-japea@silver-soken.com

☎ 048-711-7144

🌐 <https://japea.jp/taikai/>

第 34 回日本母乳哺育学会 学術集会

日程：9月14日(土)～
9月15日(日)

会場：岡山県医師会館三木記念ホール(岡山市北区)

テーマ：次世代・未来につながる母乳育児

プログラム：

特別講演「周産期メンタルヘルスの現状と課題」岡野禎治(前日本周産期メンタルヘルス学会理事長、

三重大学名誉教授)／「母乳育児・次世代へつなぐメッセージ」橋本武夫(社会福祉法人若楠副理事長)／「母乳育児と親子の関係性の危機」堀内勁(聖マリアンナ医科大学名誉教授)／教育講演「母親からみた母乳哺育の科学的エビデンス」多田克彦(国立病院機構岡山医療センター産婦人科診療部長)、「母乳育児に関する疫学研究をどのように解釈するか」頼藤貴志(岡山大学大学院環境生命科学研究科生命環境学専攻人間生態学講座准教授)、「新生児黄疸と哺乳」安田真之(香川大学総合周産期母子医療センター小児科講師)、「新生児低血糖症の病態生理」河井昌彦(京都大学小児科・新生児集中治療部病院教授)／シンポジウム1「どこまでできる？ 周産期メンタルヘルスケア」／シンポジウム2「次世代へ母乳育児を伝えるアプローチ」

参加費：会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、学生無料(学生証を提示すること)、懇親会参加費 5000 円

申込方法：後日、下記ホームページで案内

🌐 <https://www.bonyu34.com/blank-3>

問い合わせ先：医療法人サン・クリニック(学会事務局)

〒703-8205 岡山県岡山市中区中井 2-15-13

☎ 086-275-3366

FAX 086-275-3663

✉ bonyu34@sunclinic.org

第 4 回神戸看護学会 学術集会

日時：10月26日(土)

会場：神戸市看護大学(神戸市西

区)

テーマ：看護の本質を守り抜く—看護を語り、語り継ぎ、語り広める

プログラム：教育講演「看護は一つ—響き合い広げよう優れた看護を」川嶋みどり(日本赤十字看護大学名誉教授)／会長講演 林千冬(神戸市看護大学)／一般演題／交流集会ほか

※ポスト企画：10月27日(日)「自然の回復過程を整える『熱布バックケア』講習会」

参加費：〔事前登録〕会員 3000 円、非会員 4000 円、〔当日登録〕会員 4000 円、非会員 5000 円、学生(当日登録のみ)500 円

※事前登録期間：6月3日(月)～8月30日(金)

問い合わせ先：下記ホームページの問い合わせフォームより

🌐 <https://kobeans.jp/>